

骨やすり

【形状・構造及び原理等】

<形状・構造>

本品は、使用者の使いやすさの向上を目的に使用者の求めに応じて様々な形状を有しており、代表的な形状として下記のようなものがある。



<原材料>

本体	ステンレス鋼
----	--------

【使用目的又は効果】

様々な形状の隆起した表面をもつ手持型の手動式外科用器具で組織の平滑化、削合又は切断する手術器具である。

【使用方法等】

隆起した表面を組織に当て手動で動かし、組織の平面化、削合又は切断をする。

・使用前に変形やひび等がないか、損傷、摩耗又は機能していない部位がないか、正常に作動するかを確認し、必ず洗浄・滅菌をすること。

推奨滅菌方法	温度	時間
高圧蒸気滅菌	121-124℃	15 分以上
	134℃	5 分以上

・使用中、血液や組織片は局方精製滅菌水に浸したリントフリークロスのかい布でこまめに清拭すること。
・使用後は適切にできるだけ早く洗浄を行うこと。

【使用上の注意】

<重要な基本的注意>

使用方法等に関連する使用上の注意

・先の細いもの、長い形状の物は、無理な角度、過度の加圧での使用は避けること。破損する恐れがある。
・変形の原因になるので、器具に衝撃がかからないように取扱いに注意すること。
・本品がハイリスク手技に使用された場合には、プリオン病感染予防ガイドラインに従った洗浄、滅菌を実施すること。
(クロイツフェルト・ヤコブ病(CJD)患者、又は疑いのある患者に使用した器具の滅菌条件例)

滅菌方法	温度	時間
高圧蒸気滅菌	134℃	18 分

・本品がプリオン病の感染症患者への使用及びその汚染が疑われる場合には、製造販売業者又は貸与業者に連絡すること。

【保管方法及び有効期間等】

・高温・多湿、直射日光や水濡れを避け、温度や湿度が極端に変化しない塵や埃のない清潔な場所に保管すること。
・洗浄後は必ず乾燥させてから保管すること。
・材質の異なる異種金属の器具と一緒に保管しないこと。
(異種金属接触腐食を生じる恐れがある)
・錆びている機器と一緒に保管しないこと。
・化学薬品と一緒に保管しないこと。
・消毒器・滅菌器、保管庫等の内部に発生した錆びや汚れに注意すること。
・変形の原因になるので、移動保管の際は本品に衝撃がかからないように取扱いに注意すること。

【保守・点検に係る事項】

<使用前の点検>

・日常点検及び使用前点検により、欠陥(ひび割れ、変形、摩耗、腐食等)がないか、機器が正常に作動するか目視で確認を行うこと。

<使用後の点検>

・使用後は直ちに洗浄液等に浸漬し洗浄すること。洗浄後は必ず乾燥させること。湿った状態で長時間放置しますと変色、錆等の発生原因になる。
・洗浄の際、目の粗い磨き粉や金属ウールで本品の表面を磨かないこと。
・洗浄装置(超音波洗浄器等)で洗浄を行う際は、他の機器が接触しないようにすること。
・血液、体液、組織片等により汚染した機器は、使用後すぐに洗浄、消毒、滅菌を行うこと。汚染物質を付着したままにしておくことと除去しにくくなることもある。
・洗浄、消毒、滅菌には精製水を使用すること。水道水を使用すると塩素イオンの影響で器具が腐食することがある。
・加熱滅菌器(オートクレーブ滅菌器等)の乾燥温度に注意すること。高温の乾燥は機器が変質または変色することがある。
・洗浄が不十分な場合や器具に詰まりがある場合は再度洗浄し、十分にすすぎ洗いをする。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者： 株式会社 メディックスジャパン
電話番号： 092-944-0112
外国製造業者： メディコン社
MEDICON eG ドイツ